



(株)セブン&アイ・ホールディングス

グループ会社

(株)そごう・西武、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂、(株)ヨークベニマル、(株)ヨークマート、
(株)赤ちゃん本舗、(株)ロフト、(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)セブン銀行、
(株)セブン・カードサービス、(株)セブン&アイ・ネットメディア、(株)ニッセンホールディングス、ほか

株式会社 そごう・西武

〈お問い合わせ先〉

CSR・CSV推進室

郵便番号 102-0084 東京都千代田区二番町5番地25

二番町センタービル

電話番号 03-6272-7409 FAX 03-6272-7349



(株)そごう・西武のCSR活動
<http://www.sogo-seibu.co.jp/csr.html>



本冊子は、見やすく間違えにくいユニバーサルデザインフォント、印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷、VOC(揮発性有機化合物)ゼロの植物油インキ、FSC®認証紙を採用しています。制作時に排出したCO₂ 5,250kgは、カーボンフリーコンサルティングを通じてオフセット(相殺)されます。

お願い 本冊子をご不要になった際は、再資源化のため、お住まいの地域のルールでリサイクルいただくようお願いいたします。

2018年11月発行



想 い、
つ な ぐ。
未 来 へ

Environmental and
social contribution initiatives
2018-2019

社会が抱える問題に、
直面している人がいる。

遠く離れた国に、
困っている人がいる。

地球環境の変化で、
自然が荒れていく。

私たち、西武・そごうに、
何ができるだろう。



様々な問題を解決するために

私たち百貨店だけでは、

すべての問題を解決することはできません。

西武・そごうでは、お客さまや地域の皆さま、

学校、企業、NPOが つながる

仕組みや場を提供することで、

社会の問題解決のヒントを生み出します。

NPOと
食に困窮する方たちに向けた
支援活動「フードバンク」に協力



行政と
お買い物ついでにご利用いただける
「期日前投票所」を店内に設置



**障がいのある
方々と**
障がいのある方々と有名パティシエが
コラボしたお菓子を販売



企業と
地元企業とコラボした
オリジナル商品を販売




学校と
学生ボランティアが
募金活動に協力



子どもたちに
お子さまの可能性を拓く
「お仕事体験」を実施



**シニア世代の
皆さまに**
専門資格を持つスタッフが
ご高齢者のお買い物をサポート



女性の皆さまに
働く女性のための
各種イベントを実施



お客さま




2015年国連で採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs)」は、「人間が地球にずっと住み続けられるよう発展する」ために掲げられた国際社会の目標です。西武・そごうは、ステークホルダーの皆さまとつながることで、SDGsの達成への取り組みを強化してまいります。

想い、つながり、未来へ

特集

ひとりの社員のアイデアが、
地域をつなげていきました。

Shibuya Remake Bag Project

「廃棄される懸垂幕を再利用して、世の中のためにならないか。」
はじめは、全社コンペで募った、西武渋谷店で働くひとりのアイデア。
このアイデアの実現に向け、渋谷区内の企業、学校、行政が連携することで、
さらにアイデアが膨らみ、企画がどんどん大きく育ち、
廃棄物を減らすことを目的にした活動が、
地域の活力アップにつながる活動になりました。



文化服装学院がバッグを、東京デザイン専門学校がロゴや会場装飾をデザインし、株式会社スーパープランニングがカタチに。学生達が実社会に触れながら、プロジェクトを進めていきました。



みんなのやさしさ、
つなぎたい。

西武・そごうでは、「みんなのやさしさ、つなぎたい。」という思いから、お客さま一人ひとりの「やさしさ」のつなぎ手として、「植樹・育樹」「途上国支援」「盲導犬育成支援」の3つの活動を通じ、笑顔の輪を広げています。



▲ 植樹・育樹

(2009年9月から2018年8月までに)

11,974本

の植樹をしています P.8

👑 途上国支援

(2009年9月から2018年8月までに)

81万0,059足

の靴をお預かりしました P.9



🐕 盲導犬育成支援

(2003年3月から2018年8月までに)

5億8,200万円

の募金を寄付しました P.10



▲ 植樹・育樹



お客さまのアクションが、森林再生と地域振興につながる仕組みをご提供しています。



プレゼントギフトをご注文の際に、リーフマスコット付リボンを税込100円で購入する「グリーンラッピング」をお選びいただくと、その内の50円が、認定NPO法人環境リレーションズ研究所が運営する「Present Tree」への寄付となります。西武・そごうでは、森づくりが必要な土地に樹を植えて、森林再生と地域振興につなげるこのプロジェクトに賛同し、お客さま参加型の植樹・育樹活動を推進。2018年5月には、マツクイムシ被害の森を、多くの野鳥が棲める豊かな森へ戻すために、社員ボランティアが山梨県笛吹市の植樹活動に参加しました。



グリーンラッピングは80円で1本分、また、お中元やお歳暮ギフトの簡易包装は4,000件、食品フロアでのレジ袋ご辞退は1万枚でそれぞれ1本分の植樹につながります。

みんなのやさしさ、
つなぎたい。

途上国支援



お客さまからお預かりした子ども靴を、ザンビアの子どもたちに贈ります。



西武そごうは、全店舗に「子ども靴下取りコーナー」を常設し、使わなくなった子ども靴1点につき、子ども服売場で税込5,000円お買い上げいただくごとに1枚ご使用いただける「500円割引券」とお引き換えしています。お客さまからお預かりした子ども靴は、公益財団法人ジョイセフを通じてアフリカのザンビア共和国に届けられ、子どもたちの足を寄生虫病や破傷風から守っています。また、子ども靴を配布する際、母親たちには安全な妊娠や出産・育児についての教育を実施。母親や子どもたちの命を守るため、適切な知識を伝えています。

各店のベビー休憩室に寄付金付きの飲料自動販売機を設置しているほか、「ホワイトリボンピンバッジ」を製作・販売。ザンビアの妊婦が出産直前に事前宿泊するための施設を作る「マタニティプロジェクト」に寄付しています。

盲導犬育成支援



盲導犬への理解を深め、育成を支援する活動をお客さまとともに推進します。



西武そごうの全店舗に盲導犬のかたちをした募金箱を設置し、お客さまのご協力のもと、盲導犬の育成を支援しています。また、視覚に障がいのある方と盲導犬へのご理解を深めていただくために、全店舗で年2回、盲導犬との歩行などが体験できる「ふれあいキャンペーン」を開催。さらに近隣の小学校に出向き、授業の一環として実施する「盲導犬学校キャラバン」も支援しています。社内では「そごう・西武基金」を設立。また、従業員が任意で毎月の給与から自動引落で積み立てられる「ワン！コイン倶楽部」の募金も組み入れ、全国の盲導犬育成団体に寄付しています。

従業員を対象に「盲導犬受入れセミナー」を実施し、視覚に障がいのある方への対応、盲導犬や補助犬の受入れに対する理解を深めています。

高齡化・人口減少への対応

シニアのお客さまも、お買い物を楽しく快適に。
毎日の暮らしを豊かにするお手伝いをしています。



→ 全店舗で認知症サポーターの養成を推進



目標は、社員全員の資格取得

高齢化が進むなか、認知症のお客さまやご家族の方にも安心してお買い物を楽しんでいただくため、全店舗に認知症キャラバン・メイトを配置し、認知症サポーター養成講座を開催。接客の際に適切な対応が取れるよう、認知症について学んでいます。2018年8月末現在、西武・そごう所属のサポーターは約4,500名にのぼります。

→ 店舗を活用し健康な暮らしをサポート



店内で毎月開催される「健康セミナー」

西武所沢店では地元フィットネスクラブと連携し、長くスポーツから遠ざかっていた方を対象に、「スポーツを始めるカラダの地下づくり」セミナーを定期開催。また、そごう徳島店では店内の階段に、地階から屋上まで歩くウォーキングコースを整備。お買い物をお楽しみいただきながら、お客さまの健康促進をサポートしています。

商品や店舗を通じた安全・安心

人や環境にやさしい商品のご提案をはじめ、食を通じて、
こどもたちの未来につながるお手伝いをしています。



→ 持続可能な天然水産物「アラスカシーフード」を販売



アラスカシーフードコーナー

養殖を禁止し、漁法や漁獲量を厳格に管理することで、豊かな自然や生き物たちを守り、次世代につなげていくことを目的としたアラスカの水産業。西武・そごうでは定期的に「アラスカシーフードフェア」を開催するとともに、お歳暮ではアラスカシーフードギフトを提案し、100年後も継続できる漁業に貢献しています。

→ 「食」を通じたイベントで社会貢献



お客さまにフードロスについて知っていただく活動を継続

地元の方たちを対象に、地元で採れる食材を使った恵方巻づくりなど、地産地消について学ぶイベントを開催しています。また、地域の「フードバンク」活動に協力し、PR活動を推進。食に困っている方たちのために、店頭でお客さまからの寄贈食品回収コーナーを定期的に設置しています。

💡 省エネ・省資源の追求

暮らしの知恵を次世代へ。地域の皆さまとともに、
イベントを通じて地球環境の保全を推進しています。



➔ 植物で省エネ「グリーンカーテンプロジェクト」



一人ひとり、ていねいにゴーヤの苗植え

ゴーヤなどの植物を育ててつくる「グリーンカーテン」は、夏の日差しを遮り室内温度を下げるため、節電などの省エネ対策になります。各店では毎年、環境省が推進するプロジェクトに参加。地元の幼稚園や保育園の子どもたち、地球温暖化防止センターの皆さまなどとともに、ゴーヤやヘチマの苗植えイベントを実施しています。

➔ 夏の風物詩「打ち水大作戦」で“涼”を体感



ゆかた姿のお子さまも打ち水に参加

毎年各店では、お客さまや地域の企業、行政などの皆さまとともに、夏の風物詩「打ち水大作戦」を実施しています。打ち水には、再生水や期限切れ備蓄水などを使用し環境に配慮。昔ながらの打ち水を行い、実際に気温が下がる効果を確認することで、環境活動に対する啓発につなげています。

👩 女性・若者・高齢者の活躍支援

女性の育児と仕事の両立や、
伝統技術を受け継ぐ若者の活躍を応援しています。



➔ 初めてのママを応援「プレママステーション」



出産・育児を応援する「プレママステーション」

「出産に向けて、何を準備したらいいのかわからない」「育児について周りに相談できる人がいない」初めて出産・育児を経験するママたちのために、一部店舗ではお悩み解消カウンター「プレママステーション」を設置。新米ママの不安や悩みに、常駐の助産師がお応えします。また、親子で楽しめるイベントも開催しています。

➔ 伝統工芸品と若手クリエイターのコラボレーション



職人の手作業による越前塗のコーヒータンブラー

昔ながらの伝統工芸品を、若手ならではの感性でモダン＆ファッションブルに表現した商品の展示販売会を開催。百貨店は場所を提供することで、若手クリエイターの皆さまの活躍を支援します。また製作実演や体験イベントを通じて、地域に伝わる伝統工芸の魅力を、多くのお客さまに発信しています。

基本理念

私たちは、企業市民として社会的責任を自覚し、環境・社会・経済が一体となった事業活動を通じ、お客さまやお取引先、地域とともに、「次世代に続く豊かなくらしづくり」に取り組みます。

行動指針

1. 私たち自身の環境保全活動に加え、当社の事業活動を通じて、お客さまやお取引先の活動にも良い環境影響を及ぼすように努めます。
2. ① 環境に配慮した品ぞろえやイベント、セミナーなどを通じたお客さまとのコミュニケーション強化
② 社会貢献活動などを通じた地域、社会とのコミュニケーション強化
③ 地球温暖化防止対策や廃棄物の削減、リサイクルの推進などによる環境負荷の低減と環境保全の推進
④ 環境教育の継続による法令順守とリスクマネジメントの徹底
以上の活動を重点に、仕組みや手法の継続的な改善に取り組みます。
3. 従業員に対する継続的な教育と啓発活動を行い、一人ひとりが環境や社会問題に自発的に取り組むことにより、お客さまや地域社会に役立ち、信頼される企業を目指します。
4. 挑戦的な目標を設定し、一人ひとりが達成に向けた活動を実践しながら、結果の検証と改善を繰り返し、システムの向上を心がけます。

この環境方針は、従業員と当社のために働く全ての人に周知するとともに、一般の方々にも公開します。

2016年10月6日
株式会社そごう・西武
代表取締役社長 林 拓二

■ そごう・西武の環境方針とSDGsの関係性



西武・そごう全店舗および全事業所で、環境に関する国際規格ISO14001を取得し、環境方針の達成に向け「次世代に続く豊かなくらしづくり」に取り組んでいます。

セブン&アイグループの重点課題

セブン&アイグループは、ステークホルダーの期待や要請にお応えするため、ステークホルダーとグループの事業にとって重要な5つの課題を特定し、グループ一丸となって取り組んでいます。

重点課題 1	高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供	9 産業と資源効率の改善をつなぐ 11 住み続けられるまちづくりを
重点課題 2	商品や店舗の通じた安全・安心の提供	9 産業と資源効率の改善をつなぐ 13 気候変動に具体的な対策を

重点課題 3	商品、原材料、エネルギーのムダのない利用	7 エネルギーをみんなに 7 つくる責任 13 気候変動に 15 陸の豊かさも
重点課題 4	社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援	4 質の高い教育を 5 ジェンダー平等を 8 働きがいも 10 人や国の不平等
重点課題 5	お客様、お取引先を巻き込んだエシカルな社会づくりと資源の持続可能性向上	2 清潔を 4 質の高い教育を 12 つくる責任 14 海の豊かさを 15 陸の豊かさも 16 平和と公正を

商事事業部

➔ ご要望に合わせてソリューションを提供

商事事業部は、法人・団体さまのご要望や課題に対して、幅広い商材や小売で培ったノウハウとネットワークを駆使して、より適切なソリューションをご提供しています。

セールス
プロモーション

ユニフォーム

ギフト・
記念品

防災用品

寄付・資材

➔ 災害に備える「防災ソリューション」

地球環境の変化により増大する災害リスクに対し、防災専任担当と防災士資格者を有した営業体制で、最適な備蓄計画のご提案や期限管理システムのご提供、期限切れ防災食の処分、防災訓練のアドバイスなど多岐にわたる防災ソリューションをコンサルティングいたします。



「オフィス防災EXPO」に出展

➔ 災害リスクを診断「土地情報レポート」

地盤調査最大手の応用地質株式会社と共同し、拠点における「地震時の揺れやすさ」「浸水の可能性」等、5つの主要素から地盤を総合評価する「土地情報レポート」をご提供。拠点毎に異なる自然災害リスクに対して最適な災害対策をご提案しています。



西武・そごうは
これからも人と人、
人と地球を
笑顔でつないで
まいります。



会社概要

代表取締役社長 林 拓二

従業員数 7,651人(2018年2月末)

売上高 6,743億円(2018年2月期)

店舗数 15店舗(2018年10月1日現在)

【西武店舗】

池袋本店 渋谷店 所沢店 東戸塚店
高槻店* 大津店 福井店 岡崎店 秋田店

【そごう店舗】

横浜店 千葉店 神戸店* 広島店 大宮店
川口店 西神店 徳島店

*西武高槻店、そごう神戸店は株式会社エイチ・ツー・オー アセットマネジメントが運営しています。